

「英訳マンガから見る英語表現の一考察：『ONE PIECE』を事例として」（『新教育課程研究』第 62 号、令和 7 年 9 月）、1-62 頁

「プロローグ」「1 『ONE PIECE』は人気のあるマンガ／アニメ」「2 『ONE PIECE』「エピローグ」の順で論じた。『ONE PIECE』は『週刊少年ジャンプ』（集英社）に 1997 年 34 号から連載中の人気マンガである。25 年以上にわたるマンガである。今回はその冒頭部分を取り上げた。

英訳マンガに限らず、翻訳する場合には、どこまで翻訳するかは大きな問題である。『ONE PIECE』でもこうした状況はいくつか見られた。言葉を翻訳するのではなく、あくまでも内容を翻訳しているのである。マンガは台詞と絵で構成される一種の脚本である。

会話から構成されているため、前後関係などにより、日本語としては表現されていない事でも英訳ではそれに触れる必要性もあれば、日本語として表現されていても、これが簡略化されている場合もあった。こうした英訳という翻訳では英語の学習だけでなく、異文化理解としても重要な要素がある。（A 5）